

令和元年度（2019）第3回出雲市議会（定例会）議案

（12月19日上程）

1. 委員会提出案件

（1） 山陰道及び国直轄管理道路の整備に関する意見書

※地域間を結ぶ道路ネットワークの整備は、近年多発する災害時のライフラインの確保はもとより、地域間交流・連携の強化、地域経済の活性化、救急医療・災害時の代替ルート確保などの観点から重要であることから、山陰道においては、全線開通を目指した早急な整備を図り、国道9号（旧出雲バイパス）においては、4車線化の供用を目指した早急な整備を図ることを求め、出雲市議会から国に対して意見書を提出するものです。

（建設農林水産委員会提出）

（2） 少人数学級編制及び学校司書等配置に係る子ども読書活動推進事業交付金の継続を求める意見書

※島根県において進められている、少人数学級編制および学校司書等配置事業の見直しに対し、教員が受け持つ1学級あたりの人数が増加することで、児童生徒一人ひとりへのきめ細かな指導に影響が出ること、学校司書の人員確保に影響が出ること等により、教育の質の低下が懸念されることから、現行の制度および予算措置を継続することを求め、出雲市議会から島根県、島根県教育委員会に対して意見書を提出するものです。

（文教厚生委員会提出）

2. 議員提出案件

（1） 主要農作物種子法廃止に対する新たな県条例の制定を求める意見書

※主要農作物種子法が平成30年4月1日に廃止され、種子の改良や安定供給の取組に法的な裏付けがなくなったことから、品質の低下や、種子価格の高騰、品種の淘汰などが懸念される場所です。よって、今後とも優良な種子の品種開発、奨励品種制度の継続および種子の安定供給・品質確保について安定して実施されるよう、主要農作物種子法に代わる県独自の条例を制定されることを求め、出雲市議会から島根県に対して意見書を提出するものです。